# 南米協会30年のあゆみと交流



多くのご来賓の臨席のもと 副議長、 ブラジル県人会根塚 **会長、林顧問をはじめとする** 一梅雨の晴れ間に、石井知事、 次の旨、挨拶をされた。 船を引率され、

# 南米協 会設立 **30** 周年記

山市の名鉄トヤマホテルにおいて、石井隆一富山県 6月20日生、定期総会の後、午後2時30分から富 宮腰光寛衆議院議員等多数の来賓のご臨席を得 約一三〇名が参加し「富山県南米協会設立30周 高平公嗣県議会副議長、伊東尚志町村会副会

行できることはこの上ない喜 会への貢献が大きい功績のあ

次いで、南米との交流、協

状

されて以来、関係の皆様方の 緊密な交流を図ってきた。 )理解を得て、南米諸国との かつて本県からは、サンパ 南米協会は昭和54年に設立 ンパウロ州に進出以来、活発 った団体として、①72年にサ



感謝状と記念品の贈呈 ンサルタント・市森武氏、③ 謝状と記念品が贈呈された。 相談業務にあたっている永山 とやま国際センターで日系人 ルトガル語教室の講師を務め、 昭和63年から南米協会主催ポ 開催等に尽力された新日本コ

52年にはアリ

会設立30周年記念式典が高平 石井知事が次の旨、挨拶をさ 「さわやかな暑い初夏、 次に、来賓の祝辞として、

ラジル県人会の根塚会長、 は長年にわたるご尽力に敬意 開催されたことを、 顧問等のご出席の下、盛大に 副議長、宮腰衆議院議員、 感謝状を受けられた皆様に 心よりお

石井知事からの祝辞

式典・講演会

のご活躍をお願い申し上げ 貴協会は、昭和5年の設立

県費留学生、研修生の受

(1)

ど、心温まる活動に感謝申し た。また、富山在住のブラジ 地への図書贈呈など、熱心に ル人にコシヒカリの贈呈な 交流に取り組んでいただい ポルトガル語教室の開催、

流を深められ、留学生の支援、

南米の県人会等との交

こされる。

たことが思

り難く思っている。 は、越中魂を発揮され、現地 果たされたことを、 れた根塚県人会長、林顧問を の発展のため、大きな役割を はじめとする県人の皆様に 今回、ブラジルから来県さ 南米訪問団の派遣 になる南米の架け橋としてご

訓を得て交流が未来に繋がる 励のつもりが、逆に現地で教 当初は、移住者への慰問激 大訪問団を派遣し交流が りが在住し、不況の影響で困 年は、皆様と共に交流につい て考える契機である。 にも取り組みたい。設立30周 **窮が拡がるなど、新たな課題** 

行 富山県南米協会 富山市舟橋北町4-19

電話 (076)441-6148

アンサ富山村開村

係各位に心より御礼申し上げ 新聞社の後援を得ており、関 ま国際センター、海外移住家

って友好親善が進められたこ

高まり、本会が設立された。

その後、会員のご尽力と県、

との共通認識ができ、機運が

ことを心よりお祝い申し上げ 念式典が盛大に開催されます して出席の高平副議長より、 「本日は貴協会設立30周年記 続いて、 県具会議長代理と

深く、富山での演奏会の誘引 アルゼンチンタンゴに造詣が YKK、また、個人では、 に経済交流を続けておられる

だいた。今日、家を出発する 栄である」と前置きし、 信議長の祝辞を代読された。 てご挨拶できることは大変光 が初代会長を務めさせていた 「貴協会は、昭和54年の設立 父(故高平公友参議院議員) 母から一(私が設立30周年 節目のときに副議長とし

理解と関心を集められた。 を収められた。昨年のブラジ 日系人について多くの県民の ル日本移民百周年記念写真展 機関紙発行など積極的に友好 り、産業経済、教育・文化の 様方の並々ならぬ熱意によ 親善に努められ、 には、主催者として参画され、 これまで、役員と会員の皆 **寅協会には、今後とも頼り** 大きな成果 なる貢献をして いる。 南米開発に多大 山からの移住も を得ている。 ゆるぎない ンチードとして ヤポネス・ガラ 割は大きく、 ハが果たした 貴協会の

派遣などの事業に取り組んで 今後も南米諸国、 村会長のメ (上市町長)

同志町村会副会長

から魚津龍一町

理事長を中心に益々ご活躍

ご発展されるようお祈りす は、行政だけでなく民間の力 心の通う交流が深まるために

県内町村を代表してお祝い申

が盛大に開

惟されますこと、

「貴協会設立

立30周年記念式典

し上げる。

南米諸国は

近な地域であり、日本を熱く

た。第三アリアンサ村も訪問

し、日本語学校なども見学し、



支援してくれる国々が多い。 賞賛を受ける 日系人は現地 これも先達の

の遺産と思う。 ていると聞いた。

地の人々から高い

支える必要がある。今後、南 お祈りする。 絆となるよう 米諸国との けてきた貴協会の活動を皆で これまで、 留学生の受入れ協力を続 交流がゆるぎない 一益々のご活躍を 南米諸国との交

陸支部長から ルでの勤務な の交流活動を の経験がある 私は、パ 更に、鈴木 カンピー **小達男JICA北** 

ウロで富山! ロジェクト 県出身者と歓談し の際には、サンパ フグアイ、ブラジ アス大学の医療プ で本部で南米課長 ら事業の紹介後に 貴協会の30年

式典を終えた。 あり、鹿熊会長に手渡されて、 中重人)という絵画の贈呈が 塚会長から御祝の品として 介と祝電が披露された。 (雨の大湿原地帯)」 (作・田 最後にブラジル県人会・根



絵画の贈呈

腰光寛衆議院議員から そして、

セージを代読さ

され、心より敬意を表する。 ジルを訪問し、大歓待を受け 鹿熊会長には長年にわたり、 南米との掛け橋としてご尽力 「貴協会設立30周年記念式 農林水産副大臣の時にブラ

を深め、頑張ってもらえるよ とも南米との架け橋の役割を 果たされ、心と心の付き合い で、県人の方々に故郷との絆 ておられる姿も見た。 (本県の派遣教員が)頑張っ 貴協会におかれては、今後

うご尽力いただきたい。」との 激励を頂いた。 ここで、来賓の方々のご紹

# 念 講 演

正志先生(富山西高・昭和56 た経験者としては、①長谷川

要領よく紹介した。

第三アリアンサに派遣され

写真を用いながら、それぞれ

射水建設興業株式会社

北日本新聞社

株式会社新日本コンサルタント

代表取締役会長

代表取締役社長

取締役社長

夏

野

麗

子

河

合

隆

市森

富山市吉作

富山

市安住町

射水市小島

ポイントにより投影された

会からお祝いに来県された二 人の記念講演会に移った。 式典に続き、ブラジル県人 弘会長から、



記念講演

聞かれる面白い噺を、選定し が寄贈され、登壇のうえ「ブ 日伯移民百年の関係図書2冊 咄に参加者は歓声を上げてい ラジルの小咄(ピアーダ)に 自分で笑ってしまうほどの小 てご紹介いただき、林顧問が みる日本人」と題し、現地で 次いで、林 忠行顧問から

は、④堀井祥照先生 交流が深まったミラ れた経験者として ルミ企業の進出から ンドポリスに派遣さ 一方、高岡市のア

成17年から二期)の子先生(野村小・平 2名が実情報告し 年) 及び⑤西森千香 いずれも、 パワ



パーワポイントによる発表

# 林忠行顧問から図書の贈呈 平成12年) の3名が 平成3年)及び3福 た。 発表した。 年)、②西村勇嗣先生(萩浦小・

# 記念シンポジウム

富山県から現地に (一期2年 | 派遣された経験者の組織であ

会の皆さんによ る富山アリアンサ 最後のシンポジウムでは、

| 間単位で) 日本語教師として

南

米

と

熱心に聞き入っ

長の当時の話に

لح

聴衆は、根塚会 て、講話された。

出会いについ

ま

移民船でサント

人々」と題し、

た

忘れえぬ

「移住して47

私が出会っ

や

頃に世話になっ

ス港に到着した

た人との貴重な

饭井,

役は、沢辺暢之先 生(現在・石動高 行われた。 校勤務・昭和60年 体験発表と討論が コーディネータ

パネリストの現職教員 おける日本語学校 の現職教員5名の 題し、パネリスト の役割と課題」と ルとの文化交流に り、「富山とブラジ

期派遣) 柔術が南米で広まり、 された方は大変なご苦労をさ の前田光世氏の功績で日本の の交流が進められた。格闘家 れ、そのおかげで相互の文化

治代表・富山市)の「コンド 後、主催者を代表して、平村 活動するアンデス民謡G・W 国光理事長が、次の趣旨で挨 ルは飛んでいく」の生演奏の AYNO (「ウエイノ」 谷中秀 冒頭に米国N・Yを拠点に 平村理事長 一拶された。 設立五十年、県とサンパウロ また行きたいと思う人が多 すべき年であり、これをブラ ル移民百年、 帰国して振り返ってみると、 う。是非、この節目に、多く ジルの地でお祝いしたいと思 州友好提携二十五周年の記念 い。来年は、県からのブラジ の方が南米訪問団に参加され ることをお願い申し上げる。」 「私は南米を3度訪問した。 ブラジル県人会

有限会社河合呉服店

坂井石油株式会:

仜

代表取締役

河

合

常

晴

南砺市城端

南米諸国

お祝い申し上げる。南米移住 - 貴協会設立30周年を心より 村井宗明衆議院議員から る。」との言葉と乾杯のご発声 化の交流が深まるよう、 た。今後とも日本と南米の文 会の益々のご発展をお祈りす で懇談が始められた。 貴協

代表取締役社長

Ш

秀

春

富山市草島

北日本印刷株式会社

発展し かれては、設立以来30年にわ 衆議院議員から、「貴協会にお 途中で来場された長勢甚遠

現地事情、課題、感想などを の現地活動内容と派遣当時の 五十音順

### の交流推進を期待し ます 魚津清掃公社

高新工業株式会式

仜

高岡地方交通株式会社

取締役社長

代表取締役

代表取締役

廣

瀬

和

夫

高

平

伸

渡

邊

守

高岡市末広町

立山町大清水

魚津市大光寺

株式会社小 <u>III</u> 温泉

有限会社酒井工業コンサル

タント

株式会社タカギセイコー

代表取締役

記念交流懇談会

代表取締役社長 鹿 熊 裕  $\equiv$ 

朝日町湯ノ瀬

酒

井 佐和子

朝 日町草野

代表取締役社長 井

高岡市二塚 千 秋

道路技術サービス株式会社

本光 射水市橋下条 夫



新栄建設株式会式 代表取締役 代表取締役 坂 高 平 井 立山町大清水 立山町坂井沢 昭二 仜 剛 代表取締役 されました。

事に交流にご尽力を頂き、感 謝申し上げる。また、今回、 展を心からお祈りする。」との を大事に、今後も貴協会の発 豊かなブラジルとの友好関係 富山高校の同級生である。 講演に来県されたブラジル県 八会の根塚会長、林顧問は、 成長する経済大国で、資源

躍しているのを知り心強く思

った。南米に移住された方々

ら、「本日のシンポジウムで日

最後に、石澤義文副会長か

本語教師が頑張って現地で活

たり、

気で懇親会が進行した。

らうため、北日本民謡舞踊連 合会の皆さんによる民謡や踊 者に富山の雰囲気を感じても スピーチを頂いた。 途中には、南米出身の参加 和やかな雰囲 益々の発展及び富山と南米、 進を心から祈念する。」との中 日本と中南米の一層の交流促 で力を合わせて、本協会の

盛会のう



ゃ

ま



村井宗明衆議院議員

ります。

住家族会など関係の皆様の、 出席いただいております。 ご理解とご支援により、設立 和五十四年十月、県及び市町 好親善を図ることを目的に昭 国との緊密な交流のもとに友 も南米協会の会員同様に、ご 移住家族会の皆様にも、私ど 富山県南米協会は、南米諸 南米訪問経験者、海外移

には、明治末期以来、2千 大きく貢献しております。 タールを確保された奨励策も 山移住地、三千二百五十へク サンパウロ州にアリアンサ富 おります。昭和の初めに県が、 を超える移住者を送り出して かつて富山県から南米諸国 戦後、移民が再開されまし

懇親会の様子

ペルーの三カ国にそれぞれ富 山県人会が結成され、県内に ブラジル、アルゼンチン及び 次第に下火になりました。 一方、その間に現地では、 当時の中田知事に名誉顧問に 就任いただき、参議院議員を 動力となって、機運が高まり、 務めておられた高平公友先生

このような交流が大きな原

ないないないない

特別参与

嶋

健三

富山

株式会社北陸銀

1丁

# 設立 |30周年記念 武典あ いささ

## 富山県南米協会会長 鹿 熊 安

正

平県議会副議長をはじめ、県 ここに、石井富山県知事、 ぶしい頃になりました。本日 富山県南米協会設立三十周年 席をいただきまして、ここに ら根塚会長及び林顧問のご臨 はるかブラジル富山県人会か 町村議会議員の皆様、更に、 選出国会議員及び県議会、 梅雨の晴れ間に日差しのま 高 げての交流組織が無い状態で 家族会ができております。さ は、留守家族により海外移住 政、経済、文化など各界を挙 ジルへの工場進出が相次いだ 二越など県内企業によるブラ らに、昭和47年にYKK、不 ありました。 にもかかわらず、未だ県の行 そのような背景の中、昭和

とても大切なことと思う。皆

代の日本人よりも日本人らし は、大変なご苦労をされ、現

い。その人々に報いることは

記念式典を開催できますこと は、私のこの上ない喜びであ た身内のおられる富山県海外 また、南米諸国に移住され 次いで五十二年には、ブラジ 米3カ国を訪問されました。 四十九年には、当時の中田知 せました。 事が「第4回富山県青年の船」 含む百十八名の訪問団をチャ から経済界、自治体関係者を 十周年記念式典に際し、県内 ルのアリアンサ富山村開村五 し、外務省など関係者を驚か の一行、八十七名を率いて南 ター機により現地に派遣

たが、国内の高度成長に伴い、 村に残っており、南米からの 身者が、筆舌に尽くし難い苦 ました。ところが、実際に訪 本を振り返る機会になること 視点で、客観的に我が身と日 る日本の古き良き伝統が開拓 れ、さらに私達が失いつつあ 夢を抱いて雄飛された本県出 た忍耐及び開拓の情熱に打た をねぎらうための訪問であり が理解されてきました。 難を克服して、安定を築かれ 問してみると、かつて南米に これらは、主に移住者の労

> 発足したのであります。 を初代会長として富山県南米協会が

され、外務大臣表彰を受けておりま 年には、そのユニークな活動が評価 県議会や市町村、企業の皆様の暖か 業を続けてまいりました。昭和六十 いご理解とご支援のもとで多彩な事 を推進された中沖前知事をはじめ、 以来、本会は、南米との友好親善

を中心に約4千人も在住するように 近年は逆に南米から日系人が県西部 伴い在住者が減少しております。 変化し、さらに今は、経済の急変に 人口への対応に苦慮し、国策として 海外移住を奨励した時代を経験し、 我が国は、過去に長い不況と余剰

数の移住者及びその子弟が活躍され 給基地として成長が期待される地域 課題にも取組んで参りたいと考えて し、本会も、時代に適応した新たな る現地との交流を深めることは、極 であります。まして、本県出身の多 然環境を基礎に、資源及び食料の供 おります。 めて重要な意義があるものと確信 南米諸国は、世界でも恵まれた自

株式会社北日商

云

代表取締役

竹

内

富山市婦

となり、友好親善の一助となれば幸 諸国との交流について、改めて皆様 とともに考え相互理解を深める機会 新興経済国として注目を集める南米 本日の設立三十周年記念事業が

南米諸国との交流推進を期待し

係の皆様の、ご健勝とご多幸をお祈 をいただいた富山県ご当局をはじ ますとともに、本日ご参集賜りまし りし、併せて、今後の富山県南米協 及び北日本新聞社に感謝を申し上げ 移住家族会、財団法人松翁記念財団 会に対するご支援とご協力を心より た来賓各位、 め、とやま国際センター富山県海外

ま

す

いであります。

北陸アルミニウム株

式会社

取締役社長

荒

井

毅

高岡市笹川

終わりに、この記念事業にご後援 会員をはじめ一般の関 私のあいさ

## 五十音順 に いかわ信用金庫 理事長

千  $\mathbb{H}$ 則行

魚津 ||双葉町

# 丸新志鷹建設株式会社

代表取締役社長

立山町芦峅寺 樹

株式会社四方組

株式会社婦中興

耒

代表取締役社長

竹

内

冨山市婦

中町速星 茂 兀

方 正 射水市作道 江

中町速星 茂 米原商事株式会社

砺波市栄町

YKK株式会社 代表取締役社長

黒部市吉田 忠 裕

# たので、 来賓の皆様方より祝辞をいただきまし その一部をご紹介いたします。

富 乢

県議会議長

એહિ

祝辞

ざいます。皆様方のご尽力に ましては、誠におめでとうご だきますようお祈り申しあげ に、今後とも一層ご活躍いた 深く敬意を表しますととも 長、永山コニコさんにおかれ 海コンサルタントの市森武会 吉田忠裕社長、株式会社日本 られましたYKK株式会社の また、今ほど感謝状を受け さわやかな初夏を迎えてお 富山県南米協会の設立30 敬意を表し、感謝申しあげる

米 南 果たしておられます。 南米諸国とを結ぶ友好の架け 取り組まれるなど、富山県と をはじめ、日本語図書の贈呈 橋として極めて大きな役割を やポルトガル語教室の開催に られました。これまで6回に 本県と南米諸国との相互理解 立以来、30年の長きにわたり、 わたる南米親善訪問団の派遣 と友好親善の促進に努めてこ してこられたと伺っておりま

長、石澤副会長をはじめ歴代 悪化に伴い生活に困窮する県 るなど、心温まる活動に取り 方々のために食料品を贈られ 内在住の日系ブラジル人の

貴協会には、昭和54年の設 現地社会の発展に大きく貢献 すが、お二人をはじめ移住さ ら南米諸国へは、1909年、 れた県人の方々は、持ち前の 問にお越しいただいておりま から、根塚弘会長、林忠行顧 本日は、ブラジル富山県人会 越中魂を遺憾なく発揮され、 踏んでから、ちょうど百年と 富山県人が初めて南米の地を 地に移住されました。今年は 満州丸が県人16名を乗せてペ ル、アルゼンチンほか南米各 ルーのカヤオ港に入港して以 いう節目の年にあたります。 ご存知のとおり、富山県か 2千名余の方々がブラジ

こられました。

学金の交付などに取り組み、 近な地域になってきておりま 身の方も年々増加しており、 方々が生活されるなど、南米 南米諸国との友好関係を深め 本語教師の派遣、友好記念奨 留学生や研修員の受入れ、日 本県でも、現在4千名余の ル・サンパウロ州政府と連携 れまで、現地県人会やブラジ は富山県にとってますます身 して、南米親善訪問団の派遣、 こうしたなか、県では、こ 一方、日本で暮らす南米出 育支援、地域における相互理 解の推進に取り組むなど、外 しやすい地域づくりを進めて 国人の皆さんにとっても暮ら

域社会に円滑に溶け込めるよ また、外国人の皆さんが地

年記念式典の開催にあたり、 富山県南米協会の設立30周

され、本県と南米諸国との友 室の開催など、各種の国際交 員との交流・支援事業の実施 の富山県人会との交流を深め 好親善に大きな成果を挙げて 流・支援事業を積極的に展開 などの発行、ポルトガル語教 や機関紙「南米協会だより」 られ、留学生や海外技術研修 貴協会におかれましては昭 来年⑪周年を迎えますが、皆 一ご尽力に対し、深く敬意を表 年にわたる並々ならぬ熱意と じめ、役員、会員の皆様の長 らお祝いを申し上げます。 様方の長年にわたるご努力の 交流は、明治43年に始まり、 する次第であります。 迎えになられますことは、誠 立30周年という節目の年をお ここに、鹿熊会長さんをは さて、本県と南米諸国との

主催者として参画され、当時 移住者の方々のご労苦や、そ 本移民⑩周年記念写真展」に の貴重な写真や資料を通じて 特に、昨年は、「ブラジル日 ております。

のご子息である日系人の方々一危機の影響により南米諸国か その一方で、世界的な金融

# 

す大きくなるものと存じま 貴協会の果たす役割はますま 進めていくためには、行政だ か、真に心が通いあう交流を いるところです。 けでなく、民間団体も含めた グローバル化が進展するな

いたします。

は県内在住の南米出身者への 支援に一層のご尽力をいただ 貴協会には、このたびの30

> と理解を深められました。 について、多くの県民の関 そして、今年、貴協会が設 る次第であります。 りますよう、お願い申しあげ

どあらゆる面でひろがってき 甲斐もあり、今日では、産業 経済、教育文化、スポーツな ティが開催されますことを心 の度その記念式典、祝賀パー 立されて30周年に当たり、こ 本年は富山県南米協会が設 | 本語教育と日本文化継承の

南米諸国とともにさらに大き く飛躍されることを願ってお も創立から43年が経ち、先人 の献身的な努力で基礎も確立 て世帯数70家族、会員数270 在アルゼンチン富山県人会

ばれています。

ていただいており、

子供を持つ親御さんに大変喜

日本語図書・雑誌などを贈っ 助として、当地県人会に対い

の限りないご発展と、鹿熊会

ます深まってまいりました。

在アルゼンチン富山県人会

余名となり、会の親睦もます

る現状ではありますが、ここ

ってきた一世も段々少なくな

に我々の意思を継ぐ二世、

を克服して県人会の歴史を作

近年は、かつて苦難の時代

終わりに、富山県南米協会

長、平村理事長をはじめ、本

情報の提供や外国籍児童の教

| ご活躍、ご多幸をお祈り申し あげまして、お祝いの言葉と 日ご列席の皆様方のご健勝、 り、支えであります。二世、 ます。これまでお世話になっ 繋ぐ貴重な存在となっており にとりましては、母県富山県 学生からも研修中、非常に親 一世にとりましても南米協会

富山県知事 隆 身になってサポートいただい

ますますのご発展をアルゼン

会設立時より移住者子弟の日

また、南米協会からは、

指導、ご鞭捷の程よろしくお ります。今後とも引き続きご チンの空よりお祈り申してお

米諸国との友好親善の架け橋 待が高まるものと考えます。 として、さらなるご尽力を賜 しては、今後とも、本県と南 協会のますますのご活躍に期 なる存在であり、今後とも貴 ました貴協会は非常に頼りに に対する支援に努めてこられ ておられます。そうした方々 ら仕事を求めて来日された どうか、皆様方におかれま

本日ご列席の皆様方のご健 勝、ご多幸を心から祈念いた の今後ますますのご発展と、 しまして、お祝いの言葉とい



ボリビア富山県人会発足 1975(昭和50)年

南米協会30周年に寄せて

在アルゼンチン富山県人会

第三アリアンサ富山村開村50周年記念訪問団派遣(127名) 富山県南米協会設立(10月20日)、「富山県海外移住者名簿」発行

富山市とモジダスクルーゼス市が姉妹都市 1983(昭和58)年 富山県置県百年記念訪問団派遣 (106名) 1985(昭和60)年 富山県とサンパウロ州が友好提携協定締結

1987(昭和62)年 第三アリアンサ富山村開村60周年記念訪問団派遣 (82名) 1989(平成元)年 「富山県南米移住史発行」(富山県が発行、本協会が編集)

1990(平成2)年 友好県州5周年記念訪問団派遣(40名)、 1995(平成7)年 友好県州10周年記念訪問団派遣(52名) 2000(平成12)年 友好県州15周年記念訪問団派遣(32名)

2005(平成17)年 友好県州20周年、伯県人会45周年訪問団派遣(46名)

宮山 唱からの移民物

(出任 1)

終わりに、富山県南米協会

畠山宗からの移氏致(単位)人)					
移住先国	戦前移民	戦後移民	移住先国・地域	戦前戦後	
ブラジル	1536	322	メキシコ等中米	213	
アルゼンチン	18	38	北米(ハワイ、カナダ)	288	
ペルー	96	2	ニューカレドニア	248	
ボリビア	_	19	フィリピン	193	
パラグアイ、チリ	3	9			
南米小計	1653	390	合 計	3013	

#### 富山県と南米との交流関係年表

数輩出してきています。

層において活躍する人材を多 世でアルゼンチン社会の各階

は、これからも日本、アルゼ

在アルゼンチン富山県人会

大限の努力を積み重ねていく ンチン両国の発展のために最

富山県人初の南米移民、ペルーへ7月(満州丸16名)横浜港を出港 したのをはじめ、翌年3月まで5回、県人計79名が渡航

1910(明治43)年 富山県人初のブラジル移民、ブラジルへ5月(「旅順丸」で3家族、 10名) 神戸港を出港し、ガビロバ耕地のコーヒー農園に

1927(昭和2)年 ブラジルサンパウロ州ミランドポリス市第三アリアンサ地区に富山 村建設の先発隊として 松澤謙二(福野農学校教諭)を幹事に委嘱 し、6月に4家族11名が「さんとす丸」で神戸港を出港

以降、1937年(昭和12年)まで第三アリアンサ富山村に141家族531 人が入植

1952(昭和27)年 戦後移民再開

戦前移民による近親者の呼び寄せ移住が一時期の主流

1960(昭和35)年 ブラジル富山県人会発足

1961(昭和36)年 富山県海外移住留守家族連絡協議会 (現在の「富山県海外移住家族会」の前身) 設立

1966(昭和41)年 アルゼンチン富山県人会発足

1971(昭和46)年 ペルー富山県人会発足 1974(昭和49)年 高岡市とミランドポリス市が姉妹都市提携

第4回県青年の船派遣(87名)

の関係各位の多くの皆様方か 県議会、市町村そして経済界 めに設立された。以来、 南米諸国との交流を深めるた

げる。貴協会は、昭和54年の

心からお祝いを申し上

設立以来、富山県と南米諸国

立30周年にあたる記念の年で

出席された飯田久範・県観光・

続いて、

県議会議長代理と

地域振興局長から、

「貴協会が設立30周年を迎え

営企画常任委員長から、

して出席された稗苗清吉

経

本年は、富山県南米協会設

も深みを増すなか、

6月20日出、爽やかな晴天に恵まれ、街路樹の緑

本語教師の派遣、

友好記念奨

研修員や留学生の受入れ、

日

富山県南米協会設立30周年記念

午後1時30分より当協会の平成21年度定期総会が開 式典に先立ち、富山市の名鉄トヤマホテルにおいて、

催された。

総会には、

会員のほか多数の来賓、

中南米出身の

海外技術研修員など約一〇〇名の方々

・サン

の連携をさらに密にし、 えたが、最近の景気低迷で失 米各国との交流、 強化にも取り組んでいきたい ラジル人の方々の生活支援の は、ピークで4600名を超 県内の日系ブラジル人在住者 で来日された方は約30万人、 余りに減っている。当協会 帰国が続き、現在、 本県に在住する日系ブ 在外県人会等と 相互理解の 四千 る人材の育成の三つに重点的 パウロ州政府と連携し、 の支援、グローバルに活動す 現地県人会やブラジル 南米との交流については、

近年、ブラジルから出稼ぎ

第59号 続けることができた。日本か 名が移民された。 にのぼり、本県では1858 ら南米諸国への移民は19万人

ら深いご理解と厚いご支援を いただき、30年の間、活動を とを結ぶ友好親善のために精 力的に活動され、本県の国際 交流の推進に多大な貢献をい

の節目の年であり、

産業、

ス

文化等、

幅広い分野

果をあげてこられた。

今年は、貴協会設立30周年

地県人会との交流に大きな成

と南米諸国との友好親善、

現

貴協会は、設立以来、

ただいている。 意を表するとともに、 感謝申しあげる。 わたるご尽力に対し、 県では、『みんなで創ろうー 役員、会員の皆様の長年に 心から 深い敬 ポーツ、

多様な国際交流・協力活動へ 外国人にとっても暮らしやす 人が輝く元気とやま』を目標 い多文化共生のまちづくり、 に、国際化の推進については、 ŋ, の強い熱意に、深く敬意を表 で交流の輪が広がりつつあ 協会の役員・会員の皆様

費留学生らの紹介があり、 との梶敬信・議長の祝辞が披 友好親善の架け橋として、 には、富山県と南米諸国との 会からの信頼は厚く、 露された。 にご尽力をいただきたい」 の方々、海外技術研修員、 そして出席いただいた来賓 また、貴協会への南米県人 から温かい拍手が送られ 貴協会 会 国 更

開会にあたり、 鹿熊会長か

鹿熊会長



飯田久範 県観光・地域振興局長

増進に貢献していきたい。」と 挨拶があった。

が出席された。 県費留学生、

層のお力添えをお願い申しあ 県が推進する南米諸国との交 に、民間交流の牽引役として、 善にご尽力いただくととも 祝辞が代読された。 流・協力事業に対しても、

稗苗清吉 経営企画常任委員長

学金の交付等の事業を実施し 、の移住百周年の記念写真展昨年は、日本からブラジル 貴協会におかれては、今後 南米諸国との友好と親

を開催した。

#### 平成21年度

平成21年4月1日 平成22年3月31日

#### I 事業方針

本協会の設立目的に沿い、中南米諸国において活躍されている富山県出身移 住者及び関係者との絆をより一層強めるとともに、父祖の郷土富山の地縁・血 縁並びにその風土に培われた文化をよりどころとして、今後とも、さらに本県 と移住先との交流を深め、これらの諸国・地域との友好親善の促進に寄与する ため、次に掲げる事業を実施する。

#### Ⅱ 事業計画

#### 1. 機関紙の発行事業

前年度に引続き「南米ととやま」を年2回、「南米協会だより」を年4回 発行し、中南米諸国の情報、本県出身者の消息及び県内の出来事等を掲載し て、会員及び関係機関に送付するとともに、南米各国所在の県人会本部及び 支部にも航空便により送付する。

#### 2. 南米情報の収集事業

ブラジルの邦字新聞等を購読するのをはじめ、南米各国の現地県人会或い は国内外の関係機関などから中南米地域に関する各種の新しい情報を積極的 に収集する。

#### 3. ポルトガル語教室開催事業

南米諸国を理解し、友好親善の促進を図るためには、コミュニケーション の手段としての言語による対話が最も効果的であり、相手のことばと文化を 知ることが重要である。本年度も富山市及び高岡市の両会場において、ブラ ジルの公用語であるポルトガル語教室を開設する。

#### 4. 留学生及び海外技術研修員の受入協力事業

21年度に富山県に招かれる南米諸国出身の県費留学生及び海外技術研修員 が、滞在中に県内各地で行う交流活動等に対し協力支援する。

なお、本会会員が企画する各種の交流行事等に当該県費留学生及び海外技 術研修員が参加できるよう、受入れ大学、研修先等の関係機関に配慮と協力 を呼びかける。

#### 5. 郷土訪問者の歓迎事業

一時的に県内に里帰りされる南米諸国からの帰国訪問者に対し、短期かつ 効率的に富山の風土に親しんでもらうため、関係機関、団体等との連携のも とに、県内の産業、文化施設及び自然景観に優れた立山などへ同行案内する のをはじめ、必要に応じ懇談会を開催して情報交換等を行う。

#### 6. 南米諸国関係者との友好・交流事業

南米各国に所在する現地の富山県人会との交流並びにこれら諸国地域の出 身者で、県内の大学、企業等で研究や技術習得のため在住する留学生、研修 員及び同伴家族等との交流を深めるとともに、文化や経済的な分野において、 本県と南米諸国との更なる友好親善の促進を図る。

#### 7. 移住者への援護事業

本県出身の南米移住者が、万一、病気、事故等による長期入院をはじめ、 火災、天変地異による自然災害等の不慮の事態に遭遇された場合において、 立直りのために支援が必要と認められるときは、本会の「移住者援護基金積 立金|を取り崩し、現地県人会等を通じて見舞金を贈る。

#### 8. 日本語の普及事業

ブラジルをはじめ中南米諸国の本県出身移住者の子弟の日本語学習に役立 てるため、広く県民各位にも寄贈を呼びかけて収集した書籍等の資料を、本 会で購入する新刊書と併せて南米各国所在の現地県人会の本部及び支部に対 し送付する。

①幼稚園、保育所の児童向きのやさしい絵本など

②富山県の文化等を紹介する本やCD、ビデオなど

③一般向けの図書

#### 9. 県内在住の南米出身者支援事業

県内に在住する南米出身の日系人(約4200人)のうち、多数が最近の急激 な経済の減速による雇用情勢の悪化に伴い、職を失い困窮している。これら の日系ブラジル人等に対する支援に努めるとともに、地域における支援体制 の充実について関係機関に働きかける。

①民間支援団体と連携し、物心両面の支援に努める。

②日本語習得や問題解決の助言等の相談を行う。

#### 10. 県出身関係者の調査事業

南米諸国との国際交流、友好親善の更なる進展に寄与するため、南米諸国 へ移住された先駆者から現在までの本県出身関係者とその家族(三世代まで) を継続して調査する。

#### 11. 設立30周年記念事業

#### (1)富山県における記念事業

南米協会が県内各界の深いご理解と将来を洞察した英知により、昭和54 年10月に設立されてから、本年度は30周年を迎えたので、次のとおり記念 事業を行う。

#### ①記念式典

②記念講演(講師 ブラジル県人会 根塚 弘会長、林 忠行顧問) ③シンポジウム (パネルディスカッション)

現地に日本語教師として派遣された経験者約5人による貴重な体験談 等の公開

4記念パーティ

(来賓、海外移住家族会、当協会会員等)

#### (2)南米訪問団派遣準備事業

富山県及び本協会にとって来(平成22)年度は、とくに南米ブラジルと の関係において記念すべき重要な節目にあたるので、富山県及び市町村か ら知事をはじめ首長及び議会関係者並びに海外移住家族会会員、当南米協 会会員のほか一般県民(公募)を含む南米訪問団を派遣するための事業の 準備を行う。

#### 参考

- ①1910(明治43)年の富山県人南米移民100周年
- ②1960(昭和35)年のブラジル富山県人会発足50周年
- ③1985(昭和60)年の富山県・サンパウロ州友好提携25周年

#### 12. 南米関連イベントへの協賛等

県内において開催される中南米に関連するイベントで本会の趣旨に照らして 適切なものに対し、協賛又は後援を行う。

#### 平成21年度収支予算

平成21年4月1日 平成22年3月31日

南

#### 入の部

7.	/	ЦΡ				〔単位 円〕
科		目	本年度予算額 A	前年度予算額 B	比較増減(△) (A-B)	備考
会		費	2, 700, 000	2, 700, 000	0	
助成	(負担)	金	4, 490, 000	2, 790, 000	1, 700, 000	富山県 1,500千円 松翁記念財団 500千円
						1,790千円 移住家族会 700千円
繰	入	金	100, 000	100, 000	0	移住者援護基金から
諸	収	入	77, 000	76, 755	245	
寄	付	金	1,000	1,000	0	
雑	収	入	76, 000	75, 755	245	預金利子及びポル トガル語資料代
繰	越	金	569, 739	669, 245	△ 99, 506	前年度からの繰越
É	計 計		7, 936, 739	6, 336, 000	1, 600, 739	

#### 44 ത 站

文	出の	部				〔単位 円〕
科		目	本年度予算額 A	前年度予算額 B	比較増減(△) (A−B)	備考
事	業	費	2, 051, 000	2, 810, 000	△ 759,000	
機	関紙 発 征	亍 費	653, 000	700, 000	△ 47,000	南米ととやま1回 南米協会だより4回
南	米情報収	集費	19, 000	30, 000	△ 11,000	日系新聞等資料収 集他
ポル	レトガル語教室開催	事業費	530, 000	600, 000	△ 70,000	富山·高岡会場
留学	学生・技術研修員受力	(協力費	154, 000	400, 000	△ 246,000	各種活動に対する 援助費等
郷:	土訪問者歓迎事	非業費	100, 000	100, 000	0	
懇	談・交流事	業費	170, 000	350, 000	△ 180,000	
1.0	米訪問団派遣马	, .,., .	0	0	0	
移	住者援護事	業費	100, 000	100, 000	0	
日	本語普及事	業費	175, 000	380, 000	△ 205,000	南米各国へ図書送 付等
在原	具南米出身者支援	事業費	50, 000	50, 000	0	
	は身関係者の名簿整理		100, 000	100, 000	0	
	1年記念事		2, 660, 000	0	0	
	) 周年記念		2, 610, 000	0	0	
	<b>米訪問団派遣事業</b>	準備費	50, 000	0	0	事務費等
事	務	費	2, 932, 739	3, 128, 000	△ 195, 261	
会		費	225, 000	450, 000	△ 225,000	
事	373 PM 112		2, 707, 739	2, 678, 000	29, 739	
	人 件	費	2, 000, 000	2, 000, 000	0	
		通費	69, 000	69, 000	0	
	光熱·通信運		130, 000	100, 000	30, 000	
	印刷	費	160, 000	180, 000	△ 20,000	
	消耗機材費·	雑費	348, 739	329, 000	19, 739	
賃	借	料	292, 000	300, 000	△ 8,000	行政財産使用料 維持管理費
予	備	費	1,000	98, 000	△ 97,000	
	合 計		7, 936, 739	6, 336, 000	1, 600, 739	

ため辞任した。

元副市長も同日、

病気治療の

(W)

内十四の商工会のまとめ役で氏(77)は、長年にわたり県 ある富山県商工会連合会会長 会の会長 6月1日から全国商工会連合 を務められ、このたび、本年 任された。 (任期3年間)

# 全国商工会連合会の 会長に石沢氏

石沢義文氏

行われる情勢の中で、6月市 このたび国政選挙が秋までに

高岡市長の橘慶一郎氏は、

高

岡

市長

が 辞 職

議会終了後の同19日付けで市

高岡 市長

南米協会副会長の石沢義文

選挙は、7月 同12日田に投開票が行われた (6月19日) 前市長橋 5日に告示され、 慶一郎氏の辞職 正樹氏 (55歳) が に伴う高岡市長

体中央会と並ぶ中小企業三団商工会議所、全国中小企業団 体の一つで、 の連合組織 (会員数9万8700人余) に伴い全国 全国商工 に高橋正樹氏 のトップとなっ 1812の商工会 会連合会は、日本 石沢氏は、これ 高橋氏は、総務省大臣官房

た。任期は、当選の日から4 定する前までは、財団法人地 域創造の常務理事を務めてい 経歴があり、選挙に出馬を決 審議官や新潟県副知事などの



高橋正樹氏

県 会 長 名誉顧問 中沖 豊 (前 山県 知 事) 副会長 森 雅志 (富 Щ 市 長) 富 顧 問 長勢 甚遠 議 員) 副会長新高橋 正樹 (高 長) 河合 顧 議 員) 副会長 竹島 (YKK㈱代表取締役副会長) 問 清 顧 問 萩山 議 院 議 員) 副会長 石澤 (全国商工会連 教嚴 (衆 義文 顧 問 議 院 議 員) 理事長 平村 国光 (県 議 会 村井 宗明 (衆 常務理事 痢 板倉 顧 問 院 議 員) 均 (北日本新聞社取締役副社長) 橘 康太郎 (前 議 顧 員) 筆 頭常任理事 松任 敏雄 (北日本新聞社相談役) 問 河合 (参 顧 征治 員) 問 議 員) 顧 問 森田 髙 (参 議 院 員) 常任理事 横田 顧 議 問 山田 俊男 (参 議 院 員) 常任理事 米原 蕃 (県 員) 顧 問 野上浩太郎 (前 議 員) 常任理事 仲 議 裕明 議 顧 問 (前 参 議 院 員) 常任理事 (県 員) 広野 允士 菅沢 顧 問 (元 ル 大 使) 常任理事 శ 飯田 久範 相談役働 (県 長) 常任理事 東野 宗朗 長) 相談役 植出 耕一 (県 副 事) 常任理事 杉原 (富 長) 知 山市 相談役 佐藤 孝志 (元 高 市 長) 常任理事 (高 市 副 市 長) 相談役 大家 啓一 (前 矢 部 市 長) 常任理事 五本 幸正 (富 山 市 議 長) 吉田 忠裕 相談役 (YKK㈱代表取締役社長) 常任理事 働 大井 正樹 (高 岡 市 長) 相談役 毅 (北陸アルミニウム(株)社長) 常任理事 池森 武宣 (株) 北陸銀行特別参与) 相談役 常任理事 荒井政四郎 相談役 上野 (北 日 本 新 聞社顧 問) 常任理事 利勝 (高 岡 市 議 会 議 員) 議 相談役 八倉巻忠夫 (元 県 会 議 長) 常任理事 押田 博 (富山国際学園常務理事) 相談役 坂井 昭二 (元 県 議 会 議 長) 常任理事 上江 崇春 (元 県 農 林 水 (元 県 生 活 環 英二 (元 県 議 会 議 長) 相談役 向井 常任理事 寬 松本 大上紀美雄 相談役 (元 県 議 会 議 長) 常任理事 清 (富山県海外移住家族会理事) 山本 相談役 東保 和雄 (元 県 議 会 議 長) 常任理事 大野 修 (富山県海外移住家族会理事) 相談役 竹内 弘則 (元 県 議 会 議 長) 常任理事 恒川 (富山県海外移住家族会理事) 健三. 相談役 北島秀一郎 (元 県 議 会 議 長) 常任理事 శ 橘 秀雄 (事 局 長) 相談役 四方 正治 (前 県 議 会 議 長) 理 事 高平 公嗣 (県 員) 相談役 山本 修 (元 県 議 会 副 議 長) 理 事 江西 甚昇 (県 員) 相談役 横沢 隼人 (元 県 出 長) 理 事 川田 哲三 長) 相談役 大永 尚武 (元 県 副 知 事) 理 事 酒井 (サ カ ヰ 副 相談役 齋田 道男 (前 県 知 事) 理 市森 武 (㈱新日本コンサルタント代表取締役会長) 事 相談役 県 出 納 長) 澤合 敏博 (元 理 事 堀田 義雄 (県 青船会相談役) 長) 相談役 塚原 鐵二 (元 県 出 納 理 事 青柳 志郎 (北 陸 書 道 院 理 事 長) 重信 (元県公営企業管理者) (富山県海外移住家族会副会長) 相談役 畠山 理 事 中筋 國雄 県 相談役 山崎 弘道 (元 教 育 長) 理 (元 県 立近代美 相談役 長) 理 企 八木 (県 術 館 事 勉 (元 県 相談役 県 教 育 長) 監 (社) セーナー苑顧問) 橋本 清 (元 事 成瀬 弘生 相談役 隆 県 教 育 長) 監 事 森岡 (富山県海外移住家族会副会長) 福岡 (前 元就 (前 富山市 役) 相談役 石田 淳 助

③ポルトガル語教室の

開

催

画案及び収支予算案につい

次に、平成21年度の事業計

員 員

宮腰

光寛

甚遠

⑤南米からの郷土訪問者 )県費留学生及び海外技 会員有志からも温かい 供、激励会など。)なお、 花火大会への招待など 新聞社より北日本納涼 鹿熊会長より小川温泉 兀湯への宿泊、北日本 (富山、高岡の二会場) こ協力を得た。) (県内での交流機会提 研修員の受入協力

⑥日本語の普及(南米の 県人会本部・支部20ヶ 所に計五○九冊の書籍

**二会定期総会** 

定期総会の様子

滑川市議会議長 出 市 長 市 長 魚射富県県 北日本新聞姓 前 参 参参衆衆衆衆 代表取締役社長 参 議 議議議議議議議議 参議院議員 会議 院 院 院 院 院 院 院 院 院 議 議 議 議 議 議 議 議 株式会社 員 貝貝貝貝貝貝貝 分家 夏野 又市 萩山 綿貫 柴田 森田 河合 村井 野上浩太郎 田田 福治 常 宗 明 元志 俊男 巧

#### サンパウロ外国為替市況

7月15日 (ニッケイ新聞) 米ドル相場 平行 売 1.93 R \$ 買 1.93 R \$ 相 0.0205R\$ 場 売 円 買 0.0204R\$

| ご理解・ご協力への謝意が示 され、総会は終了した。 じめとする関係各位に対し、 出席会員、県及び県議会をは 終わりに、鹿熊会長から、 行われた。 んでまいりたい。」との説明が 続き、本年も各事業に取り組 度とほぼ同内容であり、引き 7 (本ペー) 橘事務! ン参照) は、20年 **慢から、「事業計** 

計画案及び収支予算案は、い 特に質問 なく、21年度事業

支決算について、橘事務局長

-成20年度の事業報告及び収

⑧ブラジル日本移民百周年記

⑦県人移住者・家族名簿改訂

⑥在県南米出身者支援

の伝説」を配布。)

て議事が進められ、まず、

鹿熊会長を議長と

本語普及事業等を承認

Dソフト「ブラジルの4つ

日本語学習用DV

)機関誌発行

(「南米ととや

ま」2回、「南米協会だより」

報告があり、20年度事業報告、

この後、森岡監事から監査

支決算の内容が報告された。 など、各事業の成果並びに収

収支決算とも満場一致の拍手

山

県

知事

豊

披

祝電 (順不同)

をお願いしたい。」との提案が があるが、他の役員には再任 ずれも原案通り承認された。 て、平村理事長から、「今回は、 理由で、何名かの役員に変動 る。推薦母体の人事異動等の 2年ごとの全員改選の年であ た(上記参照)。 行われ、全会一致で承認され 次いで、役員の改選につい